

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



# 学校だより えのき 5月号



皆野町立皆野小学校 令和8年5月1日 発行

## よい「すりこみ」を・・・

校長 吉田 浩

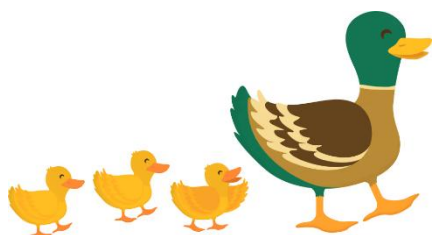
新年度が始まり、それぞれのクラスで、**新たなスタート**が切られました。1年生も1学年1クラスとなり、皆野小に新たな歴史を刻むことになりましたが、当の1年生にとっては、初めての小学校生活です。したがって1クラスということに、こちらが思うほどの戸惑いもなく、元気に学校生活を送っています。1年生を迎える会、色分け集会、そして遠足と日々皆野小の生活になじんできています。



1年生と6年生遠足

さて、先日の校長講話に於いて、「**すりこみ**」という話をしました。概要は・・・

～鳥のヒナは、普通は卵から生まれると、目の前の親鳥の行動を真似します。ですが、カモやアヒルなどの鳥のヒナは、卵からかえった時、**生まれて初めて見たものや、目の前で動くものを親だ**と思い込んでしまう習性があるそうです。この習性を「すりこみ」と言います。なので、ヒナは、目の前にイヌやネコがいればついていき、カメやラジコンでもついていってしまいます。もし、生まれて初めて見たものが、人間だったら・・・人間が親だと思ってついていってしまいます。



学校でいうと、**1年生**にとって、小学校での生活は初めてです。**学校生活はどんなふうに過ごすのかなど、上級生の姿を見て真似します。**廊下は走らない、あいさつをする、自分のロッカーを整理する、休み時間に外遊びをする、音楽が流れたら教室に戻る・・・1年生の良いお手本になり、**よい「すりこみ」**ができるようにしてください。～

皆野小では、上記の「あいさつ」「外遊び」等の他「**腰骨を立てる**」「**相手の方を向いて話を聞く**」等の**良い行動が、伝統として「すりこみ」**されているなど感じます。運動会など、全校の行事に於いても、6年生の態度や頑張りを、下級生が見て感じることによって、その伝統が引き継がれます。一朝一夕にできあがるものではなく、先輩から代々引き継がれ「すりこみ」された伝統です。今年も、その良い伝統を引き継ぐべく、上級生は上級生らしくふるまい、下級生はその良い伝統を学んでいく、そんな一年としていきたいと思えます。そして、子供たち一人一人が、自身の**成長**を感じられる皆野小としていきます。

